

資料提供	
令和5年 2月 2日	
担当	体育保健課 学校体育担当 (倉本)
電話	0857-26-7922

令和7年度全国高等学校総合体育大会（中国ブロック）における大会愛称・スローガン・シンボルマーク・総合ポスター図案最優秀作品の決定

本年度6月から9月に中国5県の中・高校生に令和7年度インターハイの大会愛称等を募集し、この度、最終選考会で下記のとおり各部門の最優秀作品が決定しました。

記

1 各部門の最優秀賞作品

(1) 大会愛称（応募総数 478）

「開け未来の扉 中国総体 2025」

広島県立高陽高等学校 2年 二井 陽香（にい はるか）

作品説明

コロナ禍で先がどうなるかわからない中、高校生が様々な制限の中で培ってきた努力を発揮し、未来を少しでも明るくしたいという思いを込めました。

(2) スローガン（応募総数 556）

「輝け 君の青春 刻め 努力の軌跡」

山口県立萩商工高等学校 3年 阿部 晃子（あべ あきこ）

作品説明

全選手に向けてのメッセージとしての意味。努力は裏切らないという思いです。

(3) シンボルマーク（応募総数 229）



広島県立海田高等学校 1年 柳澤 雄希（やなぎさわ ゆうき）

作品説明

5つで色を変えて中国地方の5県をイメージしその5県が高体連のマークに向かって競っているときの躍動感を表現した。

(4) 総合ポスター図案（応募総数 40）



サピエル高等学校（山口県） 3年 西村 あさひ（にしむら あさひ）

作品説明

どのスポーツをする人も本気で取り組みますが、その中でも高校での部活動は特別です。3年間、楽しいことや辛い事がありながら、がむしゃらに練習すると思います。そんな「熱」や「勢い」「激しさ」を表現しました。